

【ハンズオンセッション①～⑤】

※事前申込をお勧めします（参加費無料）

※いずれも H 会場 (2F) です

①【わかりやすい地図の作り方】

オーガナイザー：桐村 喬（教育委員会）

19日（土）10：20～12：00

定員 20名／要 PC 持参

誰でも手軽に GIS を使えるようになり、様々な分野の研究論文で GIS で作った地図が使われています。また、論文だけでなく、日常生活の様々な場面でも GIS で作った地図を見る機会が増えています。GIS の操作手順を間違わなければ地図が作れますが、どんなふうに表現すれば地理情報を適切に表現できて、意図を正確に伝えることができるのか、といった技術や知識は、地図に関する専門的な教育を受けないとなかなか身に付けることはできません。

このセッションでは、GIS を使う上で陥りがちなよくある失敗に注目しながら、わかりやすく、適切な地図の作り方について紹介し、地図表現に関する基礎知識を身に付けることを目標にします。取り扱う内容は、地域・用途に応じた投影法の選び方や階級区分図での色・ハッチの使い方、カルトグラムの活用法などで、これらに留意しながら実際に GIS ソフトで地図を作っていきます。

※基本的な内容は 2018 年に実施したものと同一です。

※当日持参の PC には、ArcGIS (ArcMap) または QGIS をインストールしておいてください。

申込先：<https://forms.gle/3sMUA4sb7LLcervQ46>

問合せ先：t-kirimura あつとまーく kogakkan-u.ac.jp

②【QGIS 入門ハンズオン】

オーガナイザー：嘉山 陽一

(FOSS4G 分科会/朝日航洋株式会社)

19日（土）14：30～18：10

定員 20名／要 PC 持参

近年最も普及しているオープンソースデスクトップ GIS である QGIS の入門実習を行います。

パソコンは参加者に持参をお願いします。持参パソコンに QGIS をインストールしてきてもらい QGIS で空間データを操作するための基本的な手順を実習していただきます。また QGIS で空間データをあつかうときにうまくいかなかった点ややり方がわからなかった点があるような方はデータを用意していただければどのように操作をしたら解法が見つかるか一緒にためしてみることもできるようにします。

オープンソースソフトウェアの利用方法は多くの人が利用のための知見を共有することで利用できる部分が多くなります。今回のセッションを QGIS 利用のためのノウハウ共有ができる場所として使わせて

いただきたいと思えます。

申込先 : <http://bit.ly/gisa2019qgis>

問合せ先 : yoichi.kayama@atma-k.com

③【Pythonを使って作業の効率化を図ろう！】

オーガナイザー：土田雅代（ESRI ジャパン株式会社）

20日（日）9：00～10：40

定員 12名／持参 PC 不要

Python を利用することで、ArcGIS の GUI 上で行っている反復的な作業をプログラムで自動化することができます。

これにより手間のかかる作業や繰り返しの作業の効率化を図ることができます。

Python を使用して ArcGIS でどんなことができるか知りたい方から、より進んだ ArcGIS 使いを目指す方まで、Python を使って独自のジオプロセッシングツールを作成してみませんか？

申込・問合せ先 : masayo_tsuchida@atma-k.com

④【Insights for ArcGISでデータ分析】

オーガナイザー：土田雅代（ESRI ジャパン株式会社）

20日（日）12：20～14：00

定員 12名／持参 PC 不要

データ分析が身近なものになってきているが、分析ツールに手こずったり、分析レポートが目的になっていませんか？簡単な操作で Excel より楽にグラフ表示やデータ分析が行えます。また、空間・非空間データの可視化・空間分析し、その試行プロセスを繰り返してデータが持つ特徴を最大限に導き出せます。Insights for ArcGIS を使ってデータ分析してみませんか？

申込・問合せ先 : masayo_tsuchida@atma-k.com

⑤【SfM写真測量によるマッピング】

オーガナイザー：内山庄一郎（防災科学技術研究所）

20日（日）14：20～16：00

定員 20名／要 PC 持参

SfM (Structure from Motion) 写真測量とは複数の写真から被写体の形状を復元する技術です。特に、無人航空機（ドローン）による撮影と調和的です。SfM 写真測量により、オルソモザイク画像（写真地図）や DSM（数値表面モデル）を作成することができます。ハンズオンでは、技術の概要と使いこなすコツを解説し、写真の撮影からオルソモザイク画像の出力までの最も基礎的な一連の作業を行います。

申込・問合せ先 : uchiyama@atma-k.com